

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会	主 査 名：水村 容子 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：布野修司 主 査 名：大野隆司
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008 年度より着手している障害をもつ学生等の大学生活を保障するための環境整備に関する研究事業成果をまとめる (刊行企画)。</li> <li>・2009 年度全国大会における PD の実施 (計画基礎運営委員会主催による)</li> <li>・2009 年度全国大会における見学会の実施</li> <li>・2009 年度以降の新規研究課題への取り組み</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：水村容子 (東洋大学)、幹事：阪東美智子 (国立保健医療科学院)、八藤後猛 (日本大学)、山脇博紀 (筑波技術大学)、委員：大村薫 (日本女子大学)、小幡敏信 (本田技研工業)、亀屋恵三子 (神戸市立高等工業専門学校)、古山周太郎 (奈良県立大学)、斉藤芳徳 (茨城大学)、菅原麻衣子 (東京工業大学)、鈴木義弘 (大分大学)、高橋儀平 (東洋大学)、西野達也 (広島大学大学院)、山崎晋 (明治大学大学院)、吉村和美 (吉村和美住環境デザイン研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	刊行WG：「障害を持つ学生等に対する教育支援制度・施設環境に関する研究」の成果をまとめ、刊行準備を行う。	
2009 年度予算	237000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s12/">http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s12/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 見学研究会：児童養護施設「仙台キリスト教育児院」の見学会の実施、2009 年 8 月、参加者数 24 名
大会研究集会	1. PD「大学における生活環境のノーマライゼーション」の実施 (主催：計画基礎運営委員会) 参加者数 30 名 (資料名) 大学における生活環境のノーマライゼーション
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 継続事業である「障害をもつ学生等の大学生活を保障するための環境整備に関する研究事業」に関しては、本小委員会での研究事業の蓄積をベースとして、全国大会において PD を開催した。</p> <p>2. 全国大会開催期間中に、先進的な福祉サービスを展開する児童養護施設「仙台キリスト教育児院」の見学会を実施した。</p> <p>3. 新規研究課題の選定に関しては現在も継続審議中であるが、本年度末には、次年度からの研究活動の方針を定めていきたい。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 全国大会での PD によって、これまでの継続研究事業に更なる蓄積が得られた一方、刊行企画が当初の予定から遅れてしまっている。</p> <p>2. 新規研究課題についても、2010 年度当初から着手できるよう調整していきたい。</p>

	3. 本小委員会には聴覚に障害を持つ委員が参加しているが、委員会参加に伴う情報保証費が年度の半ばで尽きてしまった。委員会活動への平等な参加を確保するための仕組み（サービス面・資金面）の整備が求められる。
--	---

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。